

清流

西粟倉中学校だより
令和8年4月15日(水) 発行



15の春の自立を地域とともに目指す活力のある学校

(学校教育目標)

未来を拓き たくましく生きる力の育成 ～ 自律 協働 挑戦 ～

(校長雑感)

新入生を迎え、三学年がそろってから一週間が経とうとしています。校舎内を回っていると、子どもたちの元気な挨拶の声や、授業に意欲的に参加している姿に出会います。子どもたちにとって大切な三年間を預かる中学校として、身の引き締まる思いです。この学校だより「清流」では、月一回程度、その時々校長として感じたことなどをお伝えしていきたいと考えています。今後ともぜひお付き合いください。

さて、今春の人事異動は規模が大きく、多くの職員が入れ替わりました。新しく着任した職員にとって、生徒との最初の出会いが「着任式」や「始業式」です。出会いの印象を何人かの先生に聞いてみると、次のような声が返ってきました。「二、三年生の生徒が礼儀正しく、姿勢よく話を集中して聞いている姿が素晴らしいですね。」「着任式で生徒から温かい言葉とともに花束をいただき、温かく迎えてもらえてうれしかったです。」「話を聞くだけでなく、話し合いもでき、自分の意見もしっかり言えるところがすごいですね。」

また、入学式の準備や片付けにおいても、生徒たちが手際よく主体的に動く姿が見られ、「しっかりしていますね。」「周りを見て自分から動ける生徒が多いですね。」といった声も聞かれました。始業式での決意表明にあった「よい先輩になる」「手本を示す」といった言葉が、まさに行動として表れていました。

三学年がそろった後の大きな行事の一つが「新入生歓迎会」です。生徒会執行部が中心となり、学校生活や委員会活動、部活動などの説明を在校生新入生が一体となって体験を交えながら楽しく行われました。一年生は先輩の姿から多くを学び、自分のこれからについて考える機会になったことと思います。中学校生活は三年間と限られています。一日一日を大切に過ごしていきたいものです。

今年度は、学校教育目標に合わせて目指す生徒像を改訂しました。

- 自分で考え、能動的に行動する生徒（自律）
- お互いの違いを認め、高め合える生徒（協働）
- 学びを楽しみ、失敗を恐れず挑戦し続ける生徒（挑戦）

この一週間でも、こうした姿に向かって成長している様子を多く見る事ができました。学校では一年間、この生徒像の実現に向けて声かけや支援を続けていきます。そして、中学校卒業の節目に「15の春の自立」を迎えられるよう、計画的に支えてまいります。今後ともよろしくお願いたします。

学校の様子に関してはHPで公開しています。ぜひHPもご覧ください。

西粟倉中学校



(学校の様子)

<https://www.vill.nishiwakura.okayama.jp/wp/nishiwakurachugakko/>